土地に住んだ当初は、みんな用心深く遠巻きに様子をうかがっています。今度やって来たヤマギワという外国人は、いったいどういう人物なんだろう、と。

私はといえば「来る者拒まず」で、悪い連中とも付き合いますが、彼らは行く先々でトラブルを起こすので、自然と自滅していくのです。すると、今まで陰から様子をうかがっていただいい連中が徐々にやって来るようになり、彼らと関係を結べるようになる。これもまた「時間」がつくってくれる関係です。

それなら、悪い連中なんてさっさと追い出して、最初からいい人に来てもらったほうが効率的じゃないかと思うかもしれませんが、そのために防御壁を高くすると、いい人たちまで寄りつかなくなってしまいます。本当に性根のいい人たちは用心深くて、しかも割と控えめだから、障壁を設けてしまうと近づいてきません。それに悪い連中を突っぱねたら、また他の悪い者がやって来るという悪循環が起こるだけ。ですから、時間はかかってもこれが③最善の方法だと学びました。

それに、最初からあまりに用心深いと「こいつは人を信用していないな」と思われてしまいます。だから、私は学生たちに「④加害者になるより、被害者になれ」といつも言っています。「あいつは強い。あいつは正しいことを言うが、厳しくて怖いヤツだ」と思われるのは具合が良くない。それなら「あいつはこの間騙されたらしい。でも騙されるぐらい、いいヤツなんだ」と思われたほうがよっぽどいい。ただし、ずっと騙されっぱなしというわけにはいかないので、知恵を付け、どこかで汚名を返上しないといけません。それには村の人たちと話して、みんなの助言を受けながら、挽回していくのが賢明です。

すると、彼らは「オレたちはヤマギワに知恵を付けてやった。だからヤマギワはちゃんと立ち直れたんだ」と思うでしょう？　彼らにしてみれば、オレはあいつの恩人だということになる。「助けてやったんだから、今度ヤマギワが開くパーティに参加する権利がオレにもあるな」と、私に近づく理由にもなる。パーティで話をするうちに、「今度一緒にあの川に釣りに行ってみようぜ」なんて誘ってくれたりもします。そうやってだんだんといい関係ができあがってくるのです。

（山極寿一「京大式おもろい勉強法」より）

（注）ガボン、コンゴ…共に中部アフリカの国や地域。
ストライキ…労働環境の改善を求めて、一時的に労働しないこと。
プロセス…手順。過程。
ひやかし…買うつもりはないけれども品物を見て回ること。
いちゃもん…言いがかり。きちんとした理由のない苦情。
担保…保証。　　タムロする…仲間が寄り集まること。
自己顕示…自分を目立たせること。

□問一　［＊］にあてはまる言葉を次から選び、記号で答えなさい。

ア　一刀両断　　イ　一喜一憂
ウ　七転八倒　　エ　千変万化

□問二　――線①「ガボンでは、労働争議をたびたび経験しました」とありますが、筆者がこの例で示したかったのは、どのようなことですか。四十五字以内で答えなさい。

□問三　日本人は、アフリカの文化において、三日後の約束の例でいうと、どのような違いを慮る必要がありますか。次の文の［　］にあてはまる言葉を五十字以内で答えなさい。

日本の基準だと、事情はどうであれ、約束を破ったのだから信頼できないと考えるが、アフリカの基準だと、［　］と判断するという違い。

□問四　――線②「本来、物の値段とはそういうものなのだ」とありますが、どのようなものなのですか。最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　品物の良いところ、悪いところをよく確かめて、その品質にふさわしい値段をつけるようにするべきもの。
イ　売る側が必要としている金額を得て、生活していくことができるように配慮されるべきもの。
ウ　買う側がその品物をどれほど必要としているかが値段に反映されるべきもの。
エ　売る側と買う側が、信頼関係を築き、品物の価値と互いの事情を考えて、納得して決めるべきもの。

□問五　――線③「最善の方法」とありますが、アフリカで信頼関係を築くために筆者はどのようにしているのですか。五十字以内で答えなさい。

□問六　――線④「加害者になるより、被害者になれ」とありますが、筆者の考えとして最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　加害者になって罪の意識を背負ったまま生きていくのは、とてもつらいことだ。
イ　若いうちに騙される経験もして学習しておかないと、大人になってから大きなトラブルにあうことになる。
ウ　騙されて、みんなから助言をもらうような人間のほうが、ほかの人から近づいてきてもらいやすい。
エ　騙したり騙されたりしながら付き合い続けることで、人と親しい関係を築くことができる。

□問七　この文章で筆者が最も言いたいことが書かれている一段落を文章中からさがし、初めの五字を書きぬいて答えなさい。

小6国語　前期　第12回

語句の意味・用法(2)

問一　次の――線部の言葉の意味をそれぞれ後から選び、記号で答えなさい。

(1) 不自然な会話をする姉を、母はけげんそうに見た。
ア 不審に思う様子で　イ 楽しそうな様子で　ウ 心配な様子で　エ 許せない様子で

(2) 試合の相手が、県内有数の強豪校だと知って、ひるんだ。
ア 気持ちがくじけた　イ 気持ちがたかぶった　ウ やる気がわいた　エ 気持ちが冷めた

(3) 山田くんは、みんなに一目置かれている。
ア 見下されている　イ 敬意をはらわれている　ウ 敬遠されている　エ あきれられている

(4) のんびり作業をしていたら、先生にはっぱをかけられた。
ア どなられた　イ しかられた　ウ 気合いを入れられた　エ はげまされた

(5) 野球に夢中になって、勉強をなおざりにしてはいけないよ。
ア なまけて　イ おろそかにして　ウ 忘れて　エ やめて

(6) 妹は弟の秘密をもったいぶってなかなか教えてくれない。
ア 遠慮して　イ かくしたがって　ウ めんどくさそうに　エ わざと重々しくして

(7) 雨など降らないと高をくくっていたら、大雨になった。
ア 信じて　イ 予想して　ウ みくびって　エ 見下して

(8) 小林さんは、自分の思うところをよどみなく語り続けた。
ア つっかえながら　イ 思い切った様子で　ウ 堂々とした様子で　エ すらすら流れるように

問二　次の外来語の意味を後のア～シから選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) クオリティー　(2) グローバル　(3) リテラシー　(4) ディベート　(5) ポジティブ　(6) パフォーマンス　(7) コスト　(8) プライバシー　(9) スキル　(10) アクセス　(11) ハイブリッド　(12) プレゼンテーション

ア 世界的な規模である様子。　イ 費用。
ウ 質、品質。　エ 私的な生活や情報。
オ 情報や知識の活用能力。
カ 企画や提案を効果的に提示する技法。
キ 行動や考えが肯定的で前向きな様子。
ク 情報に接近し、活用すること。また、交通の便のこと。
ケ 異種の物を組み合わせてできた新しいもの。
コ 訓練によって身につけた能力。
サ 異なる立場に分かれて討論すること。
シ 人目を引こうとする演技や、身体を使った表現。

問三　次の言葉が①・②の意味で使われている文をそれぞれ後から選び、記号で答えなさい。

(1) ふれる　① 関わりをもつ。　② さしさわる。そむく。
ア はだにふれる。　イ 法にふれる。　ウ 芸術にふれる。　エ 目にふれる。

(2) とく　① 制限や取り決めをやめる。　② 口や文字で説明する。
ア 警戒をとく。　イ 人の道をとく。　ウ 帯をとく。　エ 卵をとく。

(3) かける　① はたらきかけをする。　② 対象として取り上げる。
ア 言葉をかける。　イ ボタンをかける。　ウ 会議にかける。　エ 時間をかける。

問四　次の文にあてはまる言葉を後のア～ケから選び、記号で答えなさい。

(1) 手伝いに行くのは□。
(2) 町で□人に会った。
(3) この絵は私にとって□物だ。
(4) めまいがして足下が□。
(5) 明日の展示会に向けて作品づくりに□。
(6) 時代の流れには□。
(7) あの人が相手ではとても□。
(8) 彼の立てる準備計画には□。

ア あらがえない　イ 余念が無い
ウ かけがえのない　エ 太刀打ちできない
オ 思いがけない　カ はばからない
キ おぼつかない　ク ぬかりがない
ケ やぶさかではない

問五　次の□にあてはまる言葉を後の□から選び、漢字と送りがなで答えなさい。

(1) ご託を□　(2) 結論に□　(3) 好評を□
(4) 青筋を□　(5) 一線を□　(6) 途方に□

とばす　はくす　たてる　かくする
くれる　ならべる　いたる　けっする

問六　次の□にあてはまる色を表す漢字一字を答えなさい。

(1) ずるいことをした人を、みんなが□い目で見ている。
(2) あの人は森田さんの親戚ではなく□の他人だそうだ。
(3) 財布を落としたことに気づいて□くなる。
(4) あの人は腹□いから、気をつけなさい。
(5) 人気の野球選手を少女たちが□色い声で応援している。

SAMPLE

小６国語　後期　第14回

氏名

コトバのアルゴリズム

□の中に文字を入れて、右側の文と同じ内容の文を作りなさい。その際、□の中の語を必ず用いること。

① **手話**は、手指動作と非手指動作を同時に使う視覚言語である。手話は、聞こえない人、ろう者の家族を持つ聴者等が中心となって使用している。手話は「あいうえお…」、またはアルファベットをあらわす指文字と、「山」「犬」「走る」「美しい」などの名詞、動詞、形容詞などの語が基本である。聴者が普段する身振りと共通した表現も多く見られる。

手話は、□
中心となって使用している□。五十音やアルファベットを示す
□と体言、用言を□となっている。また、聴者の
身振りと共通した表現の□も多い。

② 今日は冬型の気圧配置となり、強い寒気が流れ込んでいる影響で、**日本海側**の各地で雪や雨が降っています。特に北海道と東北の日本海側、新潟県で雪の降り方が強まり、わずか半日で一気に白銀の世界となりました。明日になると冬型の気圧配置は次第に緩み、本州の日本海側の雪や雨は昼頃には収まります。

今日は□降雪が強まっている。たった半日で一面の銀
世界になった所もある。明日は西高東低の□は緩み、日
本海側の雪や雨は収まる□だ。

③ ピーマンの実には苦みがあります。この苦みで動物に食べられないように自分の体を守っているのです。また、ヒトは子どものうちは舌の苦みを感じる部分が鋭敏であるため、ピーマンを苦く感じます。**大人**になるとその部分が鈍化するため、おいしく感じるのです。

ピーマンの実の□には、□
自分の体を守る□がある。ヒトも苦みを感じるが、□
につれ、味蕾（みらい）が鈍化し、□を覚えるようになる。

④ 桜の花が咲くと人々は酒をぶらさげたり団子をたべて花の下を歩いて絶景だの春ランマンだのと**浮かれて**陽気になりますが、これは嘘です。なぜ嘘かと申しますと、桜の花の下へ人がより集って酔っ払ってゲロを吐いて喧嘩（けんか）して、これは江戸時代からの話で、大昔は桜の花の下は怖（おそろ）しいと思っても、絶景だなどとは誰も思いませんでした。

（坂口安吾『桜の森の満開の下』冒頭）

今日、満開の桜の下で私たちは花見をして□ます。
□、□より前には、桜の花の下はおそろしいものでありこ
そすれ、誰も絶景だなどと思う者は□。

SAMPLE

第6回 言語事項 1

熟語の組み立て／三字熟語・四字熟語

できた数　　問

学習日　　月　　日

□問一　次の(1)～(8)の各組の熟語の中から、他の三つと組み立てが異なるものを選び、記号で答えなさい。

(1) ア 自他　イ 売買　ウ 損得　エ 読書

(2) ア 人造　イ 市営　ウ 国連　エ 気絶

(3) ア 永久　イ 指示　ウ 短所　エ 満足

(4) ア 作文　イ 冷水　ウ 閉会　エ 停車

(5) ア 知的　イ 急性　ウ 注意　エ 整然

(6) ア 予告　イ 公私　ウ 温室　エ 黒板

(7) ア 衣食住　イ 加害者　ウ 共通語　エ 週刊誌

(8) ア 白地図　イ 再発行　ウ 食生活　エ 機械化

□問二　次の(1)～(10)の□には、ア＝的、イ＝性、ウ＝然、エ＝化のどれがあてはまりますか。記号で答えなさい。

(1) 私□　(2) 当□　(3) 緑□　(4) 歴□　(5) 波□　(6) 陽□　(7) 法□　(8) 雑□　(9) 理□　(10) 進□

□問三　次の(1)～(8)の□には、ア＝不、イ＝無、ウ＝非、エ＝未のどれがあてはまりますか。記号で答えなさい。

(1) □自由　(2) □完成　(3) □関心　(4) □発表　(5) □常識　(6) □理解　(7) □安定　(8) □合法

□問四　次の(1)～(10)の四字熟語の□にあてはまる漢字一字を答えなさい。

(1) □刀直入　(2) 絶□絶命　(3) 針小□大　(4) 自□自賛　(5) □心伝心　(6) 起死□生　(7) 大器□成　(8) 完全無□　(9) □前絶後　(10) □機一転

第6回 言語事項 2

熟語の組み立て／三字熟語・四字熟語

できた数　　問

学習日　　月　　日

□問一　次の(1)～(8)の四字熟語の□にあてはまる漢字を答えなさい。

(1) □位□体　(2) □拝□拝　(3) □石□鳥　(4) □寒□温　(5) □人□色　(6) 朝□暮□　(7) □発□中　(8) □転□起

□問二　次の(1)～(5)の条件にあてはまる熟語を、［　］の中の漢字を使って答えなさい。（同じ漢字は二度使えません。）

(1) 似たような意味の漢字を組み合わせたもの。

(2) 反対の意味や対の意味の漢字を組み合わせたもの。

(3) 上の漢字が下の漢字を修飾しているもの。

(4) 下の漢字が上の漢字の動作の対象になっているもの。

(5) 上の漢字が主語、下の漢字が述語になっているもの。

［立　旧　安　罪　暗　国　易　新　室　犯］

□問三　次の(1)～(3)の条件にあてはまる三字熟語を、［　］の中の漢字を使って答えなさい。（同じ漢字は二度使えません。）

(1) 上の漢字一字が、下の二字熟語を修飾しているもの。

(2) 上の二字熟語が、下の漢字一字を修飾しているもの。

(3) 三字の漢字が対等な組み合わせになっているもの。

［美　音　査　真　家　再　楽　善　調］

□問四　次の(1)～(3)の意味を表す四字熟語を、［　］の中の漢字を使って答えなさい。（同じ漢字は二度使えません。）

(1) 数が多くても値段が非常に安いこと。

(2) ひと目ではるか遠くまで見渡せる様子。

(3) きわめて短い時間。とてもすばやい行動。

［一　二　三　千　石　電　文　光　東　里　望　火］

SAMPLE